

広報広聴委員会行政視察報告書

令和7年12月26日

つくば市議会議長 黒田 健祐 様

広報広聴委員長 川久保 皆実
(公印省略)

本委員会は、下記のとおり行政視察を実施したので、報告します。

記

1 視察期間

令和7年11月10日（月）から令和7年11月11日（火）まで

2 視察先及び視察事項

(1) 埼玉県草加市

「なつやすみ議会見学会」について、主権者教育の取組について

(2) 埼玉県小川町

主権者教育の取組について

3 視察目的

本委員会所管に係る上記事項について調査研究し、本市の広報広聴の発展に寄与する。

4 参加者 計10名（委員8名、議会局（随行）2名）

委員長 川久保 皆実

副委員長 青木 真矢

委員 川田 青星、梅沢 尊信、小村 政文、中村 重雄

山中 真弓、小森谷 さやか

議会局 黒田 直美、川上 由利子

5 研修内容

(1) 埼玉県草加市

【11月10日（月）説明：草加市議会】

「なつやすみ議会見学会」について、主権者教育の取組について

草加市議会は、令和5年3月の市役所新庁舎・新議場完成を受け、新議場移行記念イベントを会派代表者会議で協議し、「市民に新議場に足を運んでいただきたい」「より議会を身近に感じてもらいたい」との意見から、「なつやすみ議会見学会」の開催を決定した。また、主権者教育の取組として、市民に開かれた議会図書室を目指し、令和7年度から市立図書館との連携事業を開始したほか、令和6年度に議会体験プログラムを試行的に実施し、令和7年度から本格的に実施している。

「なつやすみ議会見学会」は市内小学校5・6年生及び中学生とその保護者を対象に、令和5年7月に開催された。内容は、①市議会の仕組みと議員の仕事の説明、②議場見学、③市議会〇×クイズ、④議員への質問、⑤記念撮影の5点で、小中学生ともに同じ内容であった。小学生40人、中学生13人が参加し、参加生徒からは「楽しかった・勉強になった・また参加したい」等、保護者からも「市政を身近に感じる事ができた。今後は親子で積極的に参画したい」との声があった。

連携事業では、令和7年4月21日から議会図書室で図書館の予約本受取、同年7月1日から選書約2,400冊の貸出を開始した。夏休み中は中高生向けに、図書館企画の「押し本コーナーの巡回展示」や、議会会議室の自習室開放も実施した。実績は、図書貸出は1日平均15冊、自習室利用は1日平均4人であった。

議会体験プログラムは、市立小学校6年生を対象に、①市議会のおはなしと模擬議会の流れについての講義②模擬議会体験③議会フロア見学（所要時間約2時間）を実施している。模擬議会体験では3コースが用意されており、討論の内容のみ児童が考える簡易コース、討論に加えて質疑・答弁を児童が考える基本コース、討論及び質疑・答弁に加え、議案そのものを児童が考える上級コースがある。参加生徒からは「質問席に移動する時は緊張感があったが、体験して良かった。」などの意見があったほか、教職員からは「実際に議会を訪れ、本物の環境に触れられたことは良い体験と思い出になった。」という意見があった。今後は、事業の持続のために省力化し、より汎用性の高いものにしていくことが課題となっている。



(2) 埼玉県小川町

【11月11日（火）説明：小川町議会】

主権者教育の取組について

小川町議会は、主権者教育の取組として、令和4年度に学校への出前講座を実施した。本取組は、教育委員会が実施する「子供議会」と連動して実現した。子供議会では、各校の代表である子ども議員が、学年・学級で練り上げた提案・質疑を町長ら執行部に行き、実際に執行部が答弁する。内容に応じて予算も確保されており、過去には提案を受けて複数校でトイレの洋式化が実現している。一方、従来の形は、実際の議員の活動は見えにくかったため、教育現場に負担をかけずに、議員が直接的に議会の大切さや思いを伝えられないかという声が議員から出ていた。そこで、教育課程等の観点からの検討や、教育長・教育委員会との相談・協議を経て、子供議会の取組と一体で、議会・議員による学校授業での出前講座を行った。

対象は、町内の全小学校6年生及び全中学校3年生全員で、議員全員が少なくとも1校の授業に講師として参加した。1回あたりの参加議員は4～5人を目安とし、①議員の簡単な自己紹介②議員・議会事務局で作成した「議会の役割」表による説明③児童生徒・教員からの質問応答④全参加議員が児童生徒への思いや願いの発表、という流れとした。

子供議会の準備段階での実施であり、その後の子ども議員の選出や提案内容の協議に参考とされた。小学校6年生では、議員の活動や思いを知り、町の良さや課題などの質問が出るなど、一人一人が町のことを考える学習になった。中学校3年生では、「これまで議会や政治にあまり興味がなかったが、議員の話を直接聞いて興味が湧いた」等の感想があり、地方自治や議員を身近に感じる機会になった。

現在は子供議会が開催されていないため、今後は出前講座単独での実施を検討している。あくまで学校の授業を主軸とし、議員がそこに深みを持たせるという考えのもと、社会科の教育課程に合わせた形を検討しているが、その場合は3学期の実施となり、学校の繁忙期と重なることが課題となっている。



【行政視察所感欄】

つくば市議会広報広聴委員会では、埼玉県草加市及び小川町における主権者教育の取組について行政視察を行った。

当委員会では、令和8年度につくば市議会として主権者教育の取組を実施できないかを検討しており、その具体化に向けた参考とするため、今回の視察ではテーマを主権者教育に絞って実施した。

草加市では、「なつやすみ議会見学会」及び「議会体験プログラム」について説明を伺った。いずれも、実際の議場というリアルな場において、議会の仕組みや議員の仕事を学び、体感できる取組であり、子どもたちに議会を身近に感じてもらう上で有意義な機会であると感じた。

特に「議会体験プログラム」は、討論以外の部分にシナリオが用意されている簡易コースから、討論だけでなく議案や質疑・答弁の内容も児童が考える上級コースまで、3段階の難易度が用意されており、学校や児童の実情に応じた対応が可能となっている。こうした段階的な構成により、学習状況や目的に沿った議会体験が行われている点が非常に勉強になった。

また、議会図書室において市立図書館と連携した市民向けの図書貸出を行うとともに、夏休み期間中には議会会議室を中高生向けの自習室として開放するなど、市民が気軽に議会フロアに足を運べる環境づくりに取り組んでいる点も印象的であった。

小川町では、議員が学校に出向いて行う出前講座の取組について説明を伺った。議員自らが議会の役割等について直接伝えることで、子どもたちが地方自治や議会への理解を深める機会となっており、教育課程に沿った適切な時期に実施されていた。こうした取組を通じて、学校と連携して主権者教育を進めるに当たり、事前調整や実施時期の設定など、配慮すべき点についても把握することができた。

主権者教育の取組に加えて、小川町では、より多くの町民に議会だよりを読んでもらうための取組についても話を伺った。現在、広報広聴委員会で進めている市議会だよりのリニューアルにおいても、参考となる有益な視点を得ることができた。

今回の行政視察で得られた知見を踏まえ、広報広聴委員会として主権者教育の取組の検討を進めるとともに、次世代に議会の役割や意義を伝える広報広聴活動の充実を図り、市民に開かれた議会を目指していく所存である。

広報広聴委員会委員長 川久保 皆実